地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	村上市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	村上市の文化遺産を活 事業実施計画	かした地域活性化【	計画の改善時期】 平成 30 年度
4 実施計画期間	平成 29 年度	~ 平成 33	年度

5 実施計画の概要

第一次村上市総合計画(計画期間:平成21年度~平成28年度)をもとに新たに策定された 第二次村上市総合計画(計画期間:平成29年度~平成33年度)のほか、第二次村上市教育 基本計画(計画期間:平成29年度~平成33年度)、村上市歴史的風致維持向上計画(計画 期間:平成28年度~平成37年度)を踏まえ、村上市に伝えられてきた多様な文化遺産を活 用して地域活性化を図るため、関係諸事業を実施する。

※第二次村上市総合計画、第二次村上市教育基本計画、村上市歴史的風致維持向上計画 (抜粋・概要)は別添のとおり

実施計画の期間は第二次村上市総合計画と同様の平成29年度から平成33年度までとし、この間に村上市歴史的風致維持向上計画で定められた「村上市の維持向上すべき歴史的風致」である村上まつり(「村上城下の祭礼にみる歴史的風致」)、岩船まつり(「石船神社の祭礼等にみる歴史的風致」)、瀬波まつり(「西奈弥神社の祭礼等にみる歴史的風致」)、金屋獅子踊り(「荒川河口の港町・市町の祭礼にみる歴史的風致」)、大須戸能(「出羽街道沿線の伝統行事にみる歴史的風致」)などの伝統行事、文化遺産を活用した取り組みを進め、村上市の歴史的風致の維持向上とともに伝統文化の後継者育成等を通じて地域活性化を図る。

6 実施体制

事業にあたっては、村上市が全体計画の企画・調整・事業実施の指導等を行なうとともに、毎年度の事業実績を村上市が点検・評価し、事業計画を適宜見直しながら事業全体の効果的な実施を図る。

(担当部局:村上市教育委員会生涯学習課文化行政推進室)

また、補助事業については下記の団体が実施する。補助事業の関係書類等は村上市地域文化遺産活用事業実行委員会事務局が管理し、実施計画期間終了後は村上市が継承する。

村上市地域文化遺産活用事業実行委員会(委員長:加藤悦郎)

構成団体:村上まつり保存会[構成団体:関係19町内]、岩船まつり保存会[構成団体:岩船岸見寺町区、岩船地蔵町区、岩船上大町区、岩船上町区、岩船上浜町区、岩船中新町区、岩船縦新町区、岩船新田町区、岩船下大町区、岩船下浜町区、岩船横新町区]、瀬波中町区、瀬波浜町区、大須戸能保存会、金屋獅子踊り保存会、牛屋獅子舞保存会、村上商工会議所、表千家流宗雪会こども茶道、表千家流珠月会、子どもお花草月・お茶裏千家教室、村上市教育委員会、その他必要と認められる関係諸団体等

各年度の事業終了後は、村上市および村上市地域文化遺産活用事業実行委員会で構成される事業評価委員会において事業実績を検証する。評価結果は第二次村上市総合計画、第二次村上市教育基本計画、村上市歴史的風致維持向上計画等の進捗状況とあわせて検証し、改善点を村上市の文化遺産を活かした地域活性化事業実施計画の事業内容に反映させる。

7 実施計画における	別紙①の	とおり						
8 補助事業の概要	(1)補助金額	~平成30年度交付流	央定額: 16	5, 704	千円	平成31年度申請額:	4, 479	千円
((2)実施事業の概要 別級							

9 その他計画実施により想定される効果 (定性的な効果を記載)

地域文化遺産に対する市民の関心が高まり、伝統芸能保存団体・文化財保存団体・文化 芸術団体等と地域が一体となって伝統文化の保存活動に取り組む体制が構築されることが 期待される。また、各団体においても伝統文化保存に対する意識が高まることで、中・長 期的な視野に立った各団体独自の保存活動がさらに活発化する効果も想定される。

市内各地域においては、関係団体・地域・学校等の連携・協力体制が構築され、各種普 及啓発活動や教育活動等を通じて若い世代の村上市の歴史や文化に対する意識が高まり、 伝統文化を次世代へ継承する後継者が育成されることが期待される。また、各地域のまちづくり組織とも連携することにより、市内各団体間の情報共有体制、人材育成体制等の充 実が図られ、多様な活動を通じて市民と行政が一体となった伝統文化の保存及び活用体制 が構築されることが期待される。さらに、これらが各地域が抱える少子高齢化による諸問 題の解消や市民協働のまちづくりの発展につながる効果も想定される。

あわせて、村上市歴史的風致維持向上計画で歴史的風致が示された各地域においては、 歴史的風致を構成する伝統行事や伝統技術についての修理・記録保存事業や後継者育成事 業が進むことにより、地域の歴史的資産である文化財等を再確認する学習会、歴史的建造 物や町並みを活用した地域活性化の活動もより活発となることが期待される。これらの情 報が広く発信されることで、観光施策との連携による村上市への観光客増加への波及効果 とともに、村上市景観計画による景観資源を活かした施策等との連携によって、さらなる 相乗効果が生まれるものと期待される。

10 その他事業(自主財源、民間団体、他省庁等からの補助(支援)を予定している事業など)

事業概要:

村上市伝統芸能祭(村上市と市内伝統芸能等保存団体による共催)

※平成31年度村上市事業(「第34回国民文化祭・にいがた2019、第19回全国障害者芸術・ 文化祭にいがた大会」関連事業)として、村上市自主財源と国民文化祭新潟県実行委員

会からの負担金により実施予定。

事業概要:

事業②、③は計画期間終了後も継続し、村上市自主財源および村上まつり保存会・村上地域

まちづくり協議会の予算により実施予定。

事業概要:

11「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定 や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

平成27年度から「歴史的風致維持向上計画」の作成に着手し、平成28年10月3日に「村上 市歴史的風致維持向上計画」が国の認定を受けている。「文化財保存活用地域計画」につ いては平成31年度以降の作成・認定に向けて準備を進めている。

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課

村上市教育委員会 生涯学習課 文化行政推進室

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	伝統文化の継承体	制の維持・福	霍 寸								
評価指標区分1:			<u> </u>				(目	/ 	── (+ ' ⁄⁄~ /	n L t	(1.)
	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり) 台船まつりに際し、全町の屋台巡行に参加する曳き手 明清東書:										
具体的な指標 1:	石加まりりに除しの人数										
目標値1:	【現状値】 平成	28 年度	400	人	⇒	【目標信	直】平成	33 年	度 4	40	人
設定根拠1:	平成26年度実績数	(400人×1.1=	=440人を	を平成33	年度の)目標(値として認	定			
進捗状況1:		4	5年度,	状況値,	目標	に対す	る達成率				
平成 29 年度	平成 30 年月	平成 31	年度	平成	32	年度	平成 3	3 年度	平成	34	年度
450 人	495 人		人			人		人			人
125%	238%										
目標区分2:	伝統文化の継承体	制の維持・硝	雀立								
評価指標区分2:	祭礼行事への参加	住民数					(具	体的な指	標は次0	りとお	IJ)
具体的な指標2:	村上まつりへ参加	する市内児童				Ī	関連事業:		2		
目標値2:	【現状値】 平成	28 年度	285	人	⇒	【目標信	直】平成	33 年	度 3	800	人
設定根拠2:	平成28年度の参加	1者数285人×	1.05=3	00人をュ		年度の	目標値と	して設定			
進捗状況2:		4	5年度,	状況値,	目標	に対す	る達成率				
平成 29 年度	平成 30 年月	平成 31	年度	平成	32	年度	平成 3	3 年度	平成	34	年度
285 人	285 人		人			人		人			人
0%	0%										
目標区分3:	その他										
評価指標区分3:	・その他						(具	体的な指	標は次の	りとお	IJ)
具体的な指標3:	市内の小学校が村の歴史文化施設を			文の里	•朝日	等	関連事業:		3		
目標値3:	【現状値】 平成	28 年度	65	%	⇒	【目標個	直】平成	33 年	度 1	.00	%
設定根拠3:	平成27年度実績6	5%を平成33年	下度に10	0%とす	ること	とを目れ	標値として	設定			
進捗状況3:		4	5年度,	状況値,	目標	に対す	る達成率				
平成 29 年度	平成 30 年月	平成 31	年度	平成	32	年度	平成 3	3 年度	平成	34	年度
60 %	60 %		%			%		%			%
-14%	-14%										
目標区分4:	伝統文化の継承体	制の維持・硝	雀立								
評価指標区分4:	祭礼行事等の保存	会会員数、例	呆存団体	数			(具	体的な指	標は次の	りとお	IJ)
具体的な指標4:	濱若三味線倶楽部	の会員数				Ē	関連事業:		4		
目標値4:	【現状値】 平成	29 年度	5	人	⇒	【目標個	直】平成	33 年	度	7	人
			- 136 L		0 Fr Hr	~ III III	r (am . t .			
設定根拠4:	平成29年度の会員	数5人の維持	寺・増加 	を平成3 	3年度(の目標 _	値として	設定 _			
設定根拠4:	平成29年度の会員		寺・増加 				*値として る達成率	設定 ————			
	平成29年度の会員 平成 30 年月	2							平成	34	年度
進捗状況4:		2	5年度,	状況値,	目標	に対す	- る達成率		平成	34	年度

目標区分5:	伝統文化	の継承体制	引の維持	• 確立								
評価指標区分5:	祭礼行事	への参加値	主民数					(具	体的な指	標は次の	のとお	s (J)
具体的な指標5:		りに際し、 民その他の		町しゃぎり	屋台の資	巡行に	参	貞連事業 :		5		
目標値5:	【現状値】	平成 2	8 年度	Ē 130	人	⇒	【目標個	直】 平成	33 年	度	132	人
設定根拠5:	平成27年	度実績数1	20人×1.	.1=132人名	と平成33	年度の	つ目標値	直として認	定			
進捗状況5:				各年度,	状況値,	目標	に対す	る達成率				
平成 29 年度	平成 3	30 年度	平成	31 年度	平成	32	年度	平成 3	3 年度	平成	34	年度
145 人	130	人		人			人		人			人
750%	()%										
目標区分6:	伝統文化	の継承体制	別の維持	• 確立								
評価指標区分6:	祭礼行事	への参加値	主民数					(具	体的な指	標は次の	のとお	SY)
具体的な指標6:		りに際し、 民その他の		町しゃぎり	屋台の資	巡行に	参	関連事業 :		6		
目標値6:	【現状値】	平成 2	8 年度	£ 60	人	⇒	【目標値	直】 平成	33 年	度	66	人
設定根拠6:	平成28年	度実績数6	60人×1.	1=66人をュ	平成33年	度の目	標値。	として設定	2			
進捗状況 6:				各年度,	状況値,	目標	に対す	る達成率				
平成 29 年度	平成 3	30 年度	平成	31 年度	平成	32	年度	平成 3	3 年度	平成	34	年度
80 人	110	人		人			人		人			人
2.2.20/	0.5	3%										
333%	86) J / ()										
目標区分7:		の継承体制	別の維持	• 確立								
·	伝統文化	の継承体制		・確立 、保存団体	数			(具	体的な指	標は次の	のとお	S (J)
目標区分7:	伝統文化祭礼行事	の継承体制	会会員数	、保存団体	数		B	(具	体的な指	 標は次・ ⑦	のとお	\$ 9)
目標区分7:評価指標区分7:	伝統文化祭礼行事	の継承体制等の保存会	会会員数	、保存団体数	数 数 人	⇒	【目標値	月連事業 :			のとお	人
目標区分7: 評価指標区分7: 具体的な指標7:	伝統文化 祭礼行事 金屋獅子 【現状値】	の継承体制 等の保存会 踊り保存会 平成 2	会会員数 会の会員 8 年度	、保存団体数	人		【目標値	関連事業: ■】 平成		7		
目標区分7: 評価指標区分7: 具体的な指標7: 目標値7:	伝統文化 祭礼行事 金屋獅子 【現状値】	の継承体制 等の保存会 踊り保存会 平成 2	会会員数 会の会員 8 年度	、保存団体 数 き 80 維持を平成	人 33年度の	の目標を	【目標値	関連事業: ■】 平成		7		
目標区分7: 評価指標区分7: 具体的な指標7: 目標値7: 設定根拠7:	伝統文化 祭礼行事 金屋獅子 【現状値】 平成28年	の継承体制 等の保存会 踊り保存会 平成 2	会会員数 会の会員 8 年度	、保存団体 数 き 80 維持を平成	人 33年度の	の目標を	【目標値	関連事業: 国 平成 で設定	33 年	7		
目標区分7: 評価指標区分7: 具体的な指標7: 目標値7: 設定根拠7: 進捗状況7: 平成 29 年度	伝統文化 祭礼行事 金屋獅子 【現状値】 平成28年 平成 3	の継承体制 等の保存会 踊り保存会 平成 2 度の会員数 30 年度	会会員数 会の会員 8 年度 数80人の	、保存団体数 = 80 維持を平成 各年度 ,	人 33年度 <i>0</i> 状況値 ,	り目標の目標の	値としに対す	関連事業: 直】 平成 て設定 る達成率	33 年	⑦	80	人
目標区分7: 評価指標区分7: 具体的な指標7: 目標値7: 設定根拠7: 進捗状況7: 平成 29 年度	伝統文化 祭礼行事 金屋獅子 【現状値】 平成28年 平成 3	の継承体制 等の保存会 踊り保存会 平成 2 度の会員数	会会員数 会の会員 8 年度 数80人の	、保存団体数 15 80 維持を平成 各年度, 31 年度	人 33年度 <i>0</i> 状況値 ,	り目標の目標の	値としに対す	関連事業: 直】 平成 て設定 る達成率	33 年	⑦	80	人
目標区分7: 評価指標区分7: 具体的な指標7: 目標値7: 設定根拠7: 進捗状況7: 平成 29 年度	伝統文化 祭礼行事 金屋獅子 【現状値】 平成28年 平成 3 82 #DI	の継承体制 等の保存会 踊り保存会 平成 2 度の会員数 30 年度	会会員数 会の会員 8 年度 数80人の 平成	、保存団体数	人 33年度 <i>0</i> 状況値 ,	り目標の目標の	値としに対す	関連事業: 直】 平成 て設定 る達成率	33 年	⑦	80	人
目標区分7: 評価指標区分7: 具体的な指標7: 目標値7: 設定根拠7: 進捗状況7: 平成 29 年度 82 人 #DIV/0!	伝統文化 祭礼行事 金屋獅子 【現状値】 平成28年 平成 3 82 #DI 伝統文化	の継承体制 等の保存会 踊り保存会 平成 2 度の会員数 30 年度 人 V/0!	会会員数 会の会員 8 年度 数80人の; 平成	、保存団体数	人 33年度 <i>0</i> 状況値 , 平成	り目標の目標の	値としに対す	製連事業 :	33 年	ア成	34	人 年度 人
目標区分7: 評価指標区分7: 具体的な指標7: 目標値7: 設定根拠7: 進捗状況7: 平成 29 年度 82 人 #DIV/0! 目標区分8:	伝統文化 祭礼行事 金屋獅子 【現状値】 平成28年 平成 3 82 #DI 伝統文化 祭礼行事	の継承体制 等の保存会 踊り保存会 平成 2 度の会員数 30 年度 人 V/0!	会会員数 会の会員 8 年度 数80人の 平成 引の維持 会会員数	、保存団体数	人 33年度 <i>0</i> 状況値 , 平成	り目標の目標の	信をして対す年度人	製連事業 :	33 年 3 年度 人	ア成	34	人 年度 人
目標区分7: 評価指標区分7: 具体的な指標7: 目標値7: 設定根拠7: 選渉状況7: 平成 29 年度 82 人 #DIV/0! 目標区分8: 評価指標区分8:	伝統文化 祭礼行事 金屋獅子 【現状値】 平成28年 平成 3 82 #DI 伝統文化 祭礼行事	の継承体制 等の保存会 踊り保存会 平成 2 度の会員数 80 年度 V/0! の継承体制 等の保存会の会	会会員数 会の会員 8 年度 数80人の 平成 引の維持 会会員数	、保存団体数	人 33年度 <i>0</i> 状況値 , 平成	り目標の目標の	信をして対す年度人	関連事業:	33 年度 人 体的な指	でである。では、では、では、では、では、では、できます。	34	人 年度
目標区分7: 評価指標区分7: 具体的な指標7: 目標値7: 設定根拠7: 進捗状況7: 平成 29 年度 82 人 #DIV/0! 目標区分8: 評価指標区分8: 具体的な指標8:	伝統文化 祭礼行事 金屋獅子 【現状値】 平成28年 平成 3 82 #DI 伝統文化 祭礼行事 大須戸能 【現状値】	の継承体制 等の保存名 平成 2 度の会員数 80 年度 V/0! の継承体制 等の保存名 マル 2	会会員数 会の会員 8 年度 数80人の 平成 引の維持 会員数 8 年度	、保存団体数	人 33年度 状況値 , 平成 数	D目標 目標 32	【目標値と対す年度人	関連事業:	33 年度 人 体的な指	でである。 では次に のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	80 34	4 年度 人 り)
目標区分7: 評価指標区分7: 具体的な指標7: 目標値7: 設定根拠7: 進捗状況7: 平成 29 年度 82 人 #DIV/0! 目標区分8: 評価指標区分8: 具体的な指標8: 目標値8:	伝統文化 祭礼行事 金屋獅子 【現状値】 平成28年 平成 3 82 #DI 伝統文化 祭礼行事 大須戸能 【現状値】	の継承体制 等の保存名 平成 2 度の会員数 80 年度 V/0! の継承体制 等の保存名 マル 2	会会員数 会の会員 8 年度 数80人の 平成 引の維持 会員数 8 年度	、保存団体数 80 維持を 年度 , 31 年度 人 · 確立 、保存団体	人 33年度 状況値 , 平成 数 人 33年度	D目標 目標 32 → D目標	信 に 年 人 情 し し す 目 標 し し し 1 目 に し し し し し し し し し	関連事業:	33 年度 人 体的な指	でである。 では次に のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	80 34	4 年度 人 り)
目標区分7: 評価指標区分7: 具体的な指標7: 目標値7: 設定根拠7: 建捗状況7: 平成 29 年度 82 人 #DIV/0! 目標区分8: 評価指標区分8: 具体的な指標8: 具体的な指標8: 設定根拠8:	伝統文化 祭礼行事 金屋獅子 【現状值】 平成28年 平成 3 82 #DI 伝統文化 祭礼行事 大須戸能 【現状値】 平成28年	の継承体制 等の保存名 平成 2 度の会員数 80 年度 V/0! の継承体制 等の保存名 マル 2	会会員数 会の会員 8 年度 数80人の 平成 引の維持 会員数 8 年度	、保存団体数 80 維持を 年度 , 31 年度 人 · 確立 、保存団体	人 33年度 状況値 , 平成 数 人 33年度	D目標 目標 32 → D目標	信 に 年 人 情 し し す 目 標 し し し 1 目 に し し し し し し し し し	製連事業 : 記 平成 る達成 る達成 3 製連事 平成 に 設定 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	33 年度 3 年度 人 体的な指 33 年	でである。 では次に のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	80 34	人 年度 人 り)
目標区分7: 評価指標区分7: 具体的な指標7: 目標値7: 設定根拠7: 選捗状況7: 平成 29 年度 82 人 #DIV/0! 目標区分8: 評価指標区分8: 具体的な指標8: 具体的な指標8: 設定根拠8: 進捗状況8:	伝統文化 祭礼行事 金屋獅子 【現状値】 平成28年 平成 3 82 #DI 伝統文化 祭礼行事 大須戸能 【現状値】 平成28年	の継承体制 等の保存名 理が 度の 度の を 度の を を を を を を を を を を を を り に の に の に り に の に り に り に り に り に り に	会会員数 8 年度 数80人の 平成 割の維持 会員数 会員数 8 年度	、保存団体 数 維持を 年度 , 31 年度 ・確立 、保存団体 を存すの体	大 33年度 ⁶ 状況値 , 平成 数 人 33年度 ⁶ 状況値 ,	D目標 目標 32 → D目標 目標	信に 年人 情値 に 対 度 目標 し す	製連事業 : 記 平 成 で る 達 成 で る 達 成 で る 達 成 で る 達 成 本	33 年度 3 年度 体的な指 33 年	でである。	80 34 のとお 27	(4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)

目標区分9:	云統文化の継承体制の維持・確立									
評価指標区分9:	祭礼行事への参加的	A礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)								
具体的な指標9:	岩船まつりに際し、 参加する曳き手の	岩船下浜町しゃぎ 人数	り屋台の巡行に	関連事業:	9					
目標値9:	【現状値】 平成 2	9 年度 50	人 ⇒ 【目標ſ	直 】 平成 33 年	度 55 人					
設定根拠9:	平成29年度実績50	人×1.1=55人を平成	対33年度の目標値と	して設定						
進捗状況9:		各年度,	状況値, 目標に対す	る達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度					
50 人	53 人	人	人	人	人					
0%	60%									
目標区分10:	伝統文化の継承体制	訓の維持・確立								
評価指標区分10:	祭礼行事への参加住	主民数		(具体的な指	標は次のとおり)					
具体的な指標10:	岩船まつりに際し、 加する曳き手の人数	岩船上町しゃぎり。 数	屋台の巡行に参	関連事業:	10					
目標値10:	【現状値】 平成 2	9 年度 55	人 ⇒ 【目標ſ	直 】 平成 33 年	度 60 人					
設定根拠10:	平成29年度実績55/	人×1.1=60人を平成	₹33年度の目標値と	して設定						
進捗状況10:		各年度,	状況値, 目標に対す	る達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度					
55 人	58 人	人	人	人	人					
0%	60%									

8(2) 実施事業の概要 別紙

												- (2	4/天心	T- 7/4 - 2	1705	刀小机
事業①:	岩船。	まつり	央像訂	是録活	用事業			美	E施団体	: 岩	曽船ま	つり	呆存会			
事業	区分:	普及啓	発					事	業期間	: 3	平成	29	年度 ~	平成	33	年度
事業	概要:	像記録	の貸占	出を行う	う。これ	いらを	通じて	、岩船		の保	存伝承	に対す	民を対象する地区			
評価指標	区分:	・その	他									(声	具体的な打	指標は:	次のと	おり)
具体的な	:指標:								る曳き 成33年度			として	設定)			
目	標値:	【現状値	1 平	成 2	28 年	度	400	人	\Rightarrow	【目標	票値】	平成	33 年	度	440	人
進捗	状況:					各	年度,	状況値	,目標	に対	する達	[成率				
平成 29	年度	平成	30	年度	平成	31	年度	平成	32	年度	平 原	戊 33	3 年度	平成	34	年度
450	人	49	5	人			人			人			人			人
125%	Ó		238%													
事業②:	お祭り) 体験詞	講座					美	施団体	: 木	寸上ま	つり	呆存会			
事業	区分:	普及啓	発					事	業期間	: 3	平成	29	年度 ~	平成	33	年度
事業	概要:	ている	「おタ	きり 体制) 議藤座」	を実	施し、	村上ま		参加	する市	5内児重	平成24年 童生徒の る。			
評価指標	区分:	・その	他									(】	具体的な打	指標は:	次のと	おり)
具体的な	:指標:						生徒数 ×1 05=		を平成	33年	度の目	煙値	として設定	定)		
目	標値:	【現状値		_	28 年		285	人	⇒	【目標		平成		度	300	人
進捗	状況:					各	年度,	状況値	,目標	に対	する達	成率				
平成 29	年度	平成	30	年度	平成	31	年度	平成	32	年度	平原	戉 33	子 年度	平成	34	年度
285	人	28	5	人			人			人			人			人
0%			0%													
事業③:	村上周	歴史講 』						美	施団体	: 木	十上市:	地域文	化遺産活	5用事業	美実行	委員会
事業	区分:	普及啓	発					事	業期間	: 3	平成	29	年度 ~	平成	33	年度
事業	概要:	資料館	での言	常設展々	や郷土資	資料館	が主催	する市	民向け	の歴	史講座	医等とも	するとと も連携し する理解	て、多	くの市	'民•
評価指標	区分:	・その	他									(真	具体的な打	指標は2	次のと	おり)
具体的な	指標:												役を利用 て設定)	した割	合	
	標値:	【現状値	1 平	成 2	28 年	度	65	%	⇒	【目標	票値】	平成	33 年	度	100	%
進捗	状況:					各	年度,	状況値	,目標	に対	する達	植成率				
平成 29	年度	平成	30	年度	平成	31	年度	平成	32	年度	平原	戊 33	3 年度	平成	34	年度
60	%	60)	%			%			%			%			%
-14%	,		-14%													

事業④: 岩船	下浜町区祭囃子後紹	継者育成事業	実施団体:	岩船下浜町区	
事業区分:	後継者養成		事業期間:	平成 30 年度 ~	平成 33 年度
事業概要:				した下浜町しゃぎり屋で 構習会を開催し、さられ	
評価指標区分:	・保存会会員数の変	变化 (維持)		(具体的な打	指標は次のとおり)
具体的な指標:	濱若三味線倶楽部の (平成29年度の会員	の会員数 員数5人の維持・増加	巾を平成33年度の	の目標値として設定)	
目標値:	【現状値】 平成 2	9 年度 5	人 ⇒ [[目標値】 平成 33 年	度 7 人
進捗状況:		各年度,北	犬況値, 目標に対	対する達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年	度 平成 33 年度	平成 34 年度
5 人	12 人	人	J	人	人
0%	350%				
事業⑤: 瀬波	中町しゃぎり屋台(修理事業	実施団体:	瀬波中町区	
事業区分:	用具等整備		事業期間:	平成 29 年度 ~	平成 33 年度
事業概要:	台一階欄間5面、②	屋台および用具等の配 ②屋台二階見送りで、 ける区民意識の高揚を	修理にあわせて	する。修理箇所は①恵日 て伝統技術を紹介するA	北寿像足部、②屋 研修会等を開催
評価指標区分:	・祭礼行事への参加	叩住民数		(具体的な打	指標は次のとおり)
具体的な指標:		瀬波中町しゃぎり屋 数120人×1.1=132人		 加する区民その他の人勢 目標値として設定)	数
目標値:	【現状値】 平成 2	8 年度 130	人 ⇒ [[目標値】 平成 33 年	度 132 人
進捗状況:		各年度,北	犬況値, 目標に対	対する達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年	度 平成 33 年度	平成 34 年度
145 人	130 人	人	J	人	人
750%	0%				
事業⑥: 瀬波	浜町しゃぎり屋台(-	修理事業	実施団体:	瀬波浜町区	
事業区分:	用具等整備		事業期間:	平成 29 年度 ~	平成 33 年度
事業概要:	回り・柱ほか)で、		里現場で用いられ	台一階各部(手木・蹴) れた伝統技術や屋台の『 る。	
評価指標区分:	・祭礼行事への参加	叩住民数		(具体的な打	指標は次のとおり)
具体的な指標:		瀬波浜町しゃぎり屋 数60人×1.1=66人を		加する区民その他の人類 標値として設定)	数
目標値:	【現状値】 平成 2	8 年度 60	人 ⇒ [[目標値】 平成 33 年	度 66 人
進捗状況:		各年度,北	犬況値, 目標に対	対する達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年	度 平成 33 年度	平成 34 年度
80 人	110 人	人		<u></u>	人
333%	833%				

事業⑦ : 金屋?	獅子踊り衣装整備	事業	実施団体:	金屋獅子踊り保存会	:
事業区分:	用具等整備		事業期間:	平成 29 年度 ~	平成 33 年度
事業概要:	校等で踊りの発表	を行なうとともに、注	舌動状況をSNS	装「たっつけ」を活り ・フェイスブックペ [・] 金屋獅子踊り伝承体	ージで公開し、保
評価指標区分:	・保存会会員数の	変化(維持)		(具体的な打	旨標は次のとおり)
具体的な指標:	金屋獅子踊り保存(平成28年度の会	会の会員数 員数80人の維持を平原	成33年度の目標値	として設定)	
目標値:	【現状値】 平成 2	28 年度 80	人 ⇒ 【目柱	標値】 平成 33 年	度 80 人
進捗状況:		各年度, 丬	犬況値、目標に対	する達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	王 平成 33 年度	平成 34 年度
82 人	82 人	人	人	人	人
#DIV/0!	#DIV/O!				
事業8: 大須	戸能舞台幕修理事	業	実施団体:	大須戸能保存会	
事業区分:	用具等整備		事業期間:	平成 30 年度 ~	平成 33 年度
事業概要:	令和元年7月に予	定されているドイツi	車邦共和国バウエ	ルバッハ村での海外: 成体制の充実、大須	公演でも活用し、
評価指標区分:	・保存会会員数の	変化 (維持)		(具体的な打	旨標は次のとおり)
具体的な指標:	大須戸能保存会の会 (平成28年度の会	会員数 員数27人の維持を平原	成33年度の目標値	として設定)	
目標値:	【現状値】 平成 2	28 年度 27	人 ⇒ 【目柱	漂値】 平成 33 年	度 27 人
進捗状況:		各年度,丬	犬況値, 目標に対	する達成率	
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	芝 平成 33 年度	平成 34 年度
27 人	27 人	人	人	人	人
#DIV/0!	#DIV/O!				
事業9: 岩船	下浜町しゃぎり屋	台修理事業	実施団体:		
事業区分:	用具等整備		事業期間:	平成 30 年度 ~	平成 33 年度
事業概要:	理の成果を区民に	業で実施した岩船下海 対する研修会等で引き あわせて伝統文化の網	き続き周知し、平	の「見送り」と一階 成28年度から継続実 意識の高揚を図る。	前庇下受け板の修 施している祭囃子
評価指標区分:	・祭礼行事への参	加住民数		(具体的な打	旨標は次のとおり)
具体的な指標:		、岩船下浜町しゃぎ 50人×1.1=55人を平		加する曳き手の人数直として設定)	
	【現状値】 平成 2	29 年度 50	人 ⇒ 【目柱	標値】 平成 33 年	度 55 人
目標値:					
目標値: 進捗状況:	TOUNIES TIX	各年度,丬	犬況値,目標に対	する達成率	
			犬況値, 目標に対 平成 32 年度		平成 34 年度
				王 平成 33 年度	平成 34 年度 人

事業⑩: 岩船	上町しゃぎり屋台用具整備事業	実施団体: 岩船」	上町区	
事業区分	: 用具等整備	事業期間: 平成	30 年度 ~ 平	成 31 年度
事業概要	平成30年度に本事業で実施した岩船上町し : 町区民に対する研修会等を通じて引き続き 礼で使用することで伝統文化の継承に対す	周知するとともに、	、町内での囃子練習	
評価指標区分	: ・祭礼行事への参加住民数		(具体的な指標	は次のとおり)
具体的な指標	岩船まつりに際し、岩船上町しゃぎり屋台 (平成29年度実績55人×1.1=60人を平成			
目標値	: 【現状値】 平成 29 年度 55 /	、 ⇒ 【目標値】	平成 33 年度	60 人
進捗状況	各年度,状況	記値, 目標に対する記	達成率	
平成 29 年月	要 平成 30 年度 平成 31 年度 平	成 32 年度 平	成 33 年度 平	成 34 年度
55 人	58 人 人	人	人	人
0%	60%			